

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【公表番号】特表 2018-525413 (P2018-525413A)

【公表日】平成 30 年 9 月 6 日 (2018.9.6)

【年通号数】公開・登録公報 2018-034

【出願番号】特願 2018-510098 (P2018-510098)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/155 (2006.01)

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 K 31/403 (2006.01)

A 6 1 K 31/5377 (2006.01)

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/155

A 6 1 K 31/506

A 6 1 K 31/403

A 6 1 K 31/5377

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 K 31/44

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 20 日 (2019.8.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のチロシンキナーゼ阻害剤及び有効量の第 1 のピグアニド化合物を含有する、肉腫を治療するための医薬組成物。

【請求項 2】

前記第 1 のピグアニド化合物がメトホルミンである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記第 1 のチロシンキナーゼ阻害剤がイマチニブ、ダサチニブ、ニロチニブ、スニチニブ、パゾパニブ、キザルチニブ、クレノラニブ又はソラフェニブである、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記第 1 のチロシンキナーゼ阻害剤がイミタニブである、請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記第 1 のチロシンキナーゼ阻害剤とは異なる第 2 のチロシンキナーゼ阻害剤又は前記

第 1 のピグアニド化合物とは異なる第 2 のピグアニド化合物との組み合わせで投与される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

シクロホスファミド、ドキソルビシン、5 - フルオロウラシル、ドセタキセル、パクリタキセル、トラスツズマブ、メトトレキサート、エピルビシン、シスプラチン、カルボプラチン、ピノレルビン、カペシタビン、ゲムシタビン、ミトキサントロン、イサベピロン、エリブリン、ラパチニブ、カルムスチン、ナイトロジェンマスタード、サルファマスタード、四硝酸白金、ビンブラスチン、エトポシド、カンプトテシン、トポイソメラーゼ阻害剤及びそれらの組合せからなる群から選択される化学療法剤の投与との組み合わせで投与される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

肉腫がユーイング肉腫ファミリー腫瘍である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

第 1 のチロシンキナーゼ阻害剤及び第 1 のピグアニド化合物を含む、被験体のユーイングファミリー腫瘍を治療するための医薬組成物であって、

前記患者が A C T B、B 2 M、M L H 1、P R K D C、X P C、A P E X 1、E R C C 5、M M S 1 9 及び R A D 2 3 A から選択される遺伝子を所定の遺伝子発現レベルと比較して高いレベルで発現していることが測定されている、

医薬組成物。

【請求項 9】

前記第 1 のピグアニド化合物がメトホルミンである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記第 1 のチロシンキナーゼ阻害剤がイマチニブ、ダサチニブ、ニロチニブ、スニチニブ、パゾパニブ、キザルチニブ、クレノラニブ又はソラフェニブである、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記第 1 のチロシンキナーゼ阻害剤がイミタニブである、請求項 9 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記第 1 のチロシンキナーゼ阻害剤とは異なる第 2 のチロシンキナーゼ阻害剤又は前記第 1 のピグアニド化合物とは異なる第 2 のピグアニド化合物の投与との組み合わせで投与される、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

シクロホスファミド、ドキソルビシン、5 - フルオロウラシル、ドセタキセル、パクリタキセル、トラスツズマブ、メトトレキサート、エピルビシン、シスプラチン、カルボプラチン、ピノレルビン、カペシタビン、ゲムシタビン、ミトキサントロン、イサベピロン、エリブリン、ラパチニブ、カルムスチン、ナイトロジェンマスタード、サルファマスタード、四硝酸白金、ビンブラスチン、エトポシド、カンプトテシン、トポイソメラーゼ阻害剤又はそれらの組合せからなる群から選択される化学療法剤の投与との組み合わせで投与される、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記遺伝子発現が定量的逆転写ポリメラーゼ連鎖反応によって測定される、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

リポソーム、界面活性剤、ニオソーム、エソソーム、トランスフェロソーム、リン脂質、スフィンゴソーム、ナノ粒子、マイクロ粒子又はそれらの組合せを更に含む、請求項 1 ~ 14 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 16】

免疫調節剤、神経活性剤、抗炎症剤、抗高脂血症剤、ホルモン、受容体作動薬、受容体

拮抗薬、抗感染症剤、タンパク質、ペプチド、抗体、抗原結合フラグメント、酵素、RNA、DNA、siRNA、mRNA、リボザイム、ホルモン、補助因子、ステロイド、アンチセンス分子、抗高血圧剤、化学療法剤又はそれらの任意の組合せを更に含む、請求項 15 に記載の医薬組成物。